

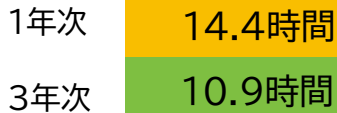
# 2022年度 大学IRコンソーシアム学生調査 調査結果 <ダイジェスト版>

## 週あたりの活動時間

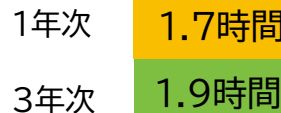
※平均活動時間

2022年度のデータを一部紹介します

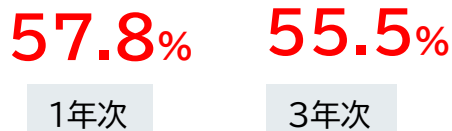
授業や実験に出る



読書をする(マンガ・雑誌以外)

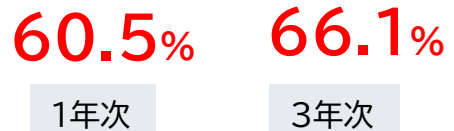


提出物に添削やコメントをつけて返却があった



ちなみに...

授業課題のために図書館の資料の利用について「ひんぱんにした」「ときどきした」と回答した人は

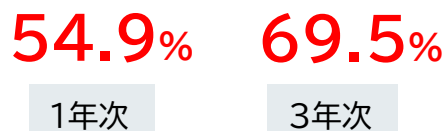


教員が提出物に添削やコメントをつけて返却する」については、課題等に対するフィードバック方法のひとつであるため、本結果をもとに教学改善につながるよう、教員向けのシラバス作成に関するマニュアルの見直しを行いました。

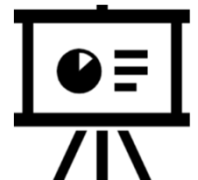
## 入学後の能力変化

※大きく増えた、増えたと回答した割合

分析力や課題解決能力



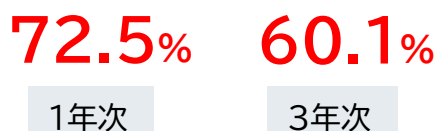
専門分野や学科の知識



## 学生生活の充実度

みなさんの学修状況、学生生活について、お聞かせください。回答結果と本学における学修データをもとに、教育実態や学びの現状等を把握し、教育の質を客観的に保証するとともに、教育改善方策を見出します。

パソコン・タブレット・PCからも回答できます。ご回答ください。



本データは、2022年度 第2学期に実施した「大学IRコンソーシアム学生調査(1年次・3年次)」をもとに作成しました。

調査実施期間及び調査実施方法等は、右表のとおりです。

	1年次	3年次
対象者	2022年度生	2020年度生 (法学部、政策学部は未実施 /2023年度から開始)
実施期間	2022年10月~2023年1月 (学部により異なる)	
実施方法	manabaを用いたWEB調査	
回答数 (回答率)	2,964 (56.91%)	1,477 (36.57%)